

FMC

秀品収穫は 苗美人から。

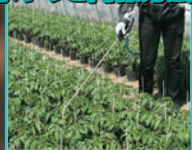
適用拡大!

トマト・ミニトマト

「定植後 株元灌注処理
(定植14日後まで)」

**ほうれんそう、
非結球あぶらな科葉菜類** **
「灌注処理」など

水やりと同様方法!



動噴で
(一般的な灌水スズル、水圧弱め、
約500株をおよそ1分で
処理できます)

すばやく根から吸収される苗灌注1回で、速効食害停止&約1ヶ月残効!
悪い虫をつけさせない。

主な適用害虫



コナジラミ類



アブラムシ類



ハモグリバエ類



アザミウマ類



ハスモンヨトウ



アオムシ



オオタバコガ



シロイチモヨトウ



ウツバ類



ネキリムシ類

* 株元灌注の場合は作物体になるべく薬液がかからないよう処理してください。 ** 「非結球あぶらな科葉菜類(ケールを除く)」「ケール」として登録

薬害事例ゼロ!



ピーマン



メロン



すいか



キャベツ



はくさい



ブロッコリー



非結球あぶらな科葉菜類



ほうれんそう



いちご



なす

野菜灌注用殺虫剤

ベリマーク[®] SC

powered by
CYAZYPYR[®]
ACTIVE INGREDIENT

ジアミド剤のプロ **FMCの卓効成分**
シアントラニプロール(通称:サイアジビル[®])を、**18.7%高配合!**



- 特長 1** 卓効でおなじみのジアミド系有効成分
シアントラニプロロール(通称:サイアジピル®)を、
ぜいたくに**18.7%配合!**
- 特長 2** まとめて**簡単&手間いらず**の灌注処理で、
撒いたそばから**食害を停止**させる**速効性!**
- 特長 3** 幅広い**難防除・抵抗性・重要害虫**に有効!
約3~4週間の長い残効性!
- 特長 4** 発売以来、**薬害事例ゼロ!** マルハナバチ、天敵にも**高い安全性!**



熊本県玉名市 梅野治行さん

※コメントは取材当時の個人の感想です。
本内容は2016年3月取材時のものです。

これまでは、粒剤をまいていたが、
水に溶けて効果を発揮するまでの
時間に、コナジラミにやられないか
心配でした。ベリマーク®SCの灌注
処理なら、水に溶かした成分がすぐ
に吸われるから、安心感が違います。

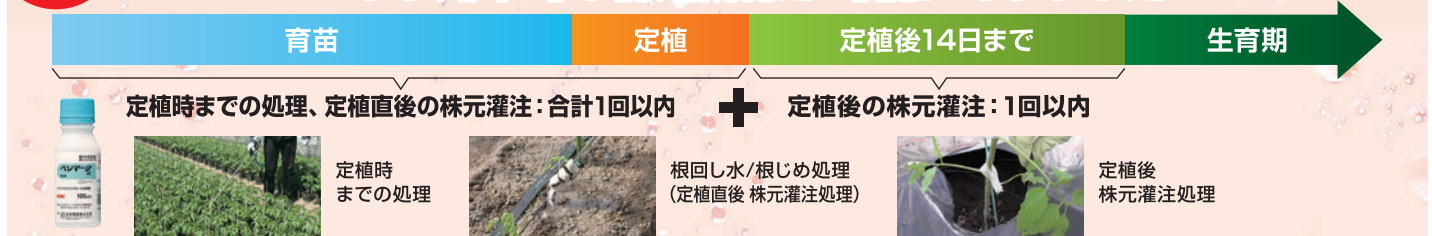


NEW

トマト・ミニトマトへの
本剤の使用時期、
使用回数

栽培方法や害虫発生に合わせて、
より効率的な初期防除が可能になりました!

品質、収量を高める
管理作業に、注力する
余裕が生まれます。



■適用害虫と使用方法

2025年1月15日現在

作物名	適用害虫名	使用量(質量) もしくは希釈倍数	使用量(希釈水量)もしくは使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	シアントラニプロロールを含む 農薬の総使用回数
トマト ミニトマト	アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類 ハモグリバエ類、トマトキバガ	400株 当り25ml	400株当り10~20ℓ(1株当り25~50ml)	育苗期後半~定植当日	1回	灌注	5回以内 (定植時までの処理及び 定植直後の株元灌注は 合計1回以内、 定植後の株元灌注は1回以内、 定植後の散布は3回以内)
	コナジラミ類		400株当り20~200ℓ(1株当り50~500ml)	定植直後		株元灌注	
	コナジラミ類	200倍 10000倍	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊 (約30×60cm、使用土壌約1.5~4ℓ)当り0.5ℓ 1~3ℓ/㎡	育苗期後半 ~定植当日 定植14日後まで		灌注 株元灌注	
きゅうり	アブラムシ類	400株 当り25ml	400株当り2~20ℓ(1株当り5~50ml)	育苗期後半~定植当日	1回	灌注	4回以内 (定植時までの処理及び 定植直後の株元灌注は 合計1回以内、 定植後の散布は3回以内)
	アザミウマ類		400株当り20~200ℓ(1株当り50~500ml)	定植直後		株元灌注	
	アザミウマ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類		400株当り10~20ℓ(1株当り25~50ml)	育苗期後半~定植当日		灌注	
ピーマン	アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類		400株当り10~20ℓ(1株当り25~50ml)	育苗期後半 ~定植当日		灌注	
	コガネムシ類		400株当り10ℓ(1株当り25ml)	定植直後		株元灌注	
	アブラムシ類		400株当り20~200ℓ(1株当り50~500ml)	定植直後		株元灌注	
なす	アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類、ネキリムシ類		400株当り10~20ℓ(1株当り25~50ml)	育苗期後半~定植当日	1回	灌注	1回
	アブラムシ類		400株当り20~200ℓ(1株当り50~500ml)	定植直後		株元灌注	
	アブラムシ類		400株当り10~20ℓ(1株当り25~50ml)	育苗期後半~定植当日		灌注	
メロン すいか	アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類	400株 当り25ml	400株当り10~20ℓ(1株当り25~50ml)	育苗期後半~定植当日	1回	灌注	4回以内(灌注は1回以内、散布は3回以内)
	アブラムシ類		400株当り20~200ℓ(1株当り50~500ml)	定植直後		株元灌注	
ししとう	アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類		400株当り10ℓ(1株当り25ml)	育苗期後半~定植当日		灌注	

作物名	適用害虫名	使用量(質量) もしくは希釈倍数	使用量(希釈水量) もしくは使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	シアントラニプロロールを含む 農薬の総使用回数
キャベツ	コナガ、アオムシ、ヨトウムシ、ハスモンヨトウ、ハイマダラノメイガ、アブラムシ類 アザミウマ類、ネキリムシ類、ウババエ類、シロイチモジヨトウ、キスジノミハムシ	400倍	セル成型育苗 トレイ1箱または ペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌約1.5~4ℓ) 当り0.5ℓ	育苗期後半 ~定植当日	1回	灌注	4回以内 (定植時までの処理は 1回以内、 定植後の処理は3回以内)
ブロッコリー	コナガ、アオムシ、ハスモンヨトウ、アブラムシ類、アザミウマ類、シロイチモジヨトウ ハイマダラノメイガ			は種蒔後~定植当日			
はくさい	コナガ、アオムシ、ハスモンヨトウ、カブラハバチ類、 アブラムシ類、シロイチモジヨトウ、キスジノミハムシ			育苗期後半 ~定植当日			
レタス 非結球レタス	オオタバコガ、ハスモンヨトウ、ヒメフタテンヨコバイ ハモグリバエ類、アブラムシ類、ウババエ類、シロイチモジヨトウ			定植当日			
カリフラワー	コナガ、アオムシ、ハスモンヨトウ			育苗期後半 ~定植当日			
しそ	アブラムシ類			育苗期後半 ~定植当日			
ねぎ	タマネギバエ、タネバエ、シロイチモジヨトウ、アザミウマ類 ハモグリバエ類、ネキリムシ類、ネギコガ	2000倍	0.5ℓ/㎡	収穫 7日前まで	1回	株元灌注	4回以内(定植時までの処理は 1回以内、定植後の処理は 3回以内(但し、株元灌注は1回以内))
	シロイチモジヨトウ、アザミウマ類、ハモグリバエ類、ネキリムシ類、ネギコガ	2000倍	0.1ℓ/㎡				
ほうれんそう	ハスモンヨトウ	4000倍	0.2ℓ/㎡	定植当日	1回	灌注	2回以内(定植時までの 処理は1回以内、 定植後の処理は1回以内)
非結球あぶらな科葉菜類 (ケールを除く)	アオムシ、コナガ、アブラムシ類	4000倍	0.2ℓ/㎡				
ケール	ネキリムシ類	400倍	セル成型育苗トレイ1箱または ペーパーポット1冊(約30×60cm、 使用土壌約1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	定植当日	1回	株元灌注	4回以内(定植時までの 処理及び定植直後の 株元灌注は合計1回以内、 定植後の散布は3回以内)
いちご	ハスモンヨトウ	1000倍	25~50ml/株	育苗期後半			
	ハスモンヨトウ、アザミウマ類、コナジラミ類、コガネムシ類、チバクロバネキノコバエ		50ml/株	育苗期後半 ~定植当日			
	アブラムシ類		25~50ml/株	定植直後			
	ハスモンヨトウ	10000倍	500ml/株	定植直後			

●ラベルをよく読んでください。●記載以外には使用しないでください。●小児の手の届くところには置かないでください。
●空容器はほ場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水は散布液調製に用いるなど、ほ場等で使用してください。●防除日誌を記帳しましょう。

©2025 FMC Corporation. All Rights Reserved. FMC、FMCロゴ、®を付した商標は、FMC Corporationまたはその米国およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標です。



日本曹達株式会社

〒100-7010 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号

お問合せ (03)4212-9655

(平日9~12時、13~17時、土日祝日を除く)

NO.255-2501TX



わかりやすい製品説明
動画はこちら



製品情報は
こちらから